

# 「いつでも」「どこでも」化粧直しキット

"Anytime" and "Anywhere" makeup repair kit

19237 渡邊 絵梨

指導教員 比留間 真

1) サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科 空間・工業意匠研究室

キーワード: 化粧、収納

## 1. 研究動機・目的

近年、美容と化粧に関する関心が急速に高まり、美容市場は拡大し続けている。コロナ禍が収束に向かっており、旅行をする人が再び増え始めた。旅行をする際、バスの中や新幹線、飛行機内での化粧場所が問題となっている。そのため、場所を問わず化粧ができる化粧道具の在り方について考察する。

## 2. 調査内容

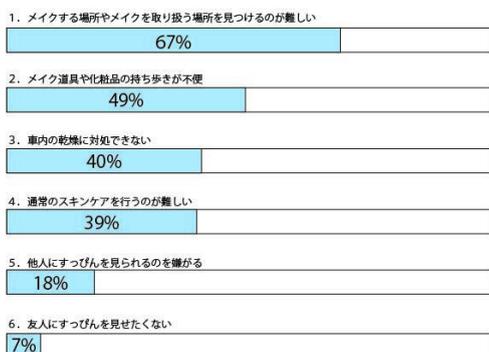
### 2.1. コスメの重要性

この状況は、現代社会の価値観に合致し、美容を自己表現として重要視する傾向にマッチしている。美容はもはや特別な場面に関連するものではなく、日常生活の一部として位置づけられており、個々の美容ルーティンが個人のアイデンティティと結びついている。このコンセプトにより、ユーザーは自分らしい美しさを保つことが容易であり、自己表現の手段として化粧を活用できる。

### 2.2. 夜行バスでのメイクについて

夜行バス女子260名を対象に複数選択可能という条件のもと、行われたものである(図1)。

夜行バスに乗る時、メイク関連で困っている事



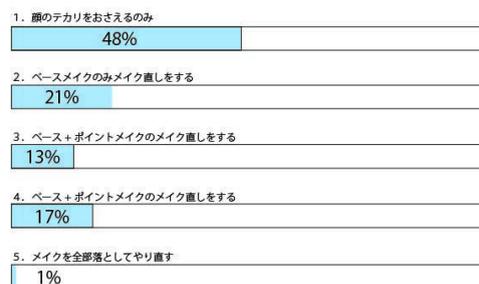
## 図1. 夜行バスに乗るときにメイクで困ること

この調査結果から、メイクをする場所に関する問題が特に突出していることがわかった。

## 2.3. 化粧直しについて

外出時、長時間のバス旅行、新幹線や飛行機内など、化粧をするスペースや時間が制約されている状況での化粧直しについて調べた。

化粧直しをどこまでしているか



## 図2. 化粧直しについて

このことから、化粧直しをする際にどのような化粧道具が必要なのかを以下に整理した(表1)。

表1. 化粧直しの道具とその用途

|          |   |
|----------|---|
| フェイスパウダー | 皮脂や汗のデカリやベタつきを抑えて、化粧崩れを防ぐ。また、外部刺激(花粉やホコリ)からも肌をガードしてくれる。 |
| コンシーラー   | 目元のクマや肌の不均一を補正し、肌を均一に見せる。                               |
| リップ      | 唇の血色をよく見せ、潤いを与え、美しい口元を演出する。                             |
| ハイライト    | 肌に立体感を与え、特定の部分を際立たせ、美しい輪郭を作り出す。                         |
| アイシャドウ   | 目元に色彩と陰影を加え、魅力的な眼差しを演出する。                               |
| メイクブラシ   | 化粧品を均等に塗布し、グラデーションを作り出し、美しい仕上がりを実現する。また、化粧崩れを防ぐ。        |

## 3. コンセプト

「いつでも」「どこでも」美容を保つ、コンパクトな化粧直しのキット

## 4. アイデア展開

### 4. 1. キーホルダー案

これは、ユーザーが化粧直しキットをカバンなどに簡単に取り付け、持ち歩きやすくするためのものである(図3)。この案は、ユーザーに化粧直しキットを常に身近に持ち歩ける便益をもたらす。さらに、アクセサリのようなデザイン要素を組み込むことで、ユーザーに美的な価値も提供できる。ユーザーが自分らしい美容を保つためのアクセサリとして、このデザインは魅力的にできると考える。



図3. キーホルダー型のデザイン案

### 4. 2. スマホケース案

これは、スマートフォンと化粧直しキットを一体化させたアプローチである(図4)。このデザインは、ユーザーがスマホを日常的に持ち歩くことを考慮しており、外出時に特に便利であると考えられる。ユーザーがスマホを持つ限り、化粧直しの用意ができるため、忙しい日常生活において時間を節約し、美容を簡単に管理できる。これにより、ユーザーは外出時に美容を気にすることなく自信を持つことができる。



図4. スマホケース型のデザイン案

### 4. 3. カバン案

カバンそのものが化粧品の収納スペースとして機能するコンセプトである(図5)。このデザインにより、化粧品は他の荷物と一緒に持ち運ばれ、必要なときに簡単にアクセスできるようになる。カバン型デザインは、ファッションと美容を結びつけ、使い勝手を向上させるアプローチである。ユーザーはカバンを持ち歩くことが一般的であるため、カバン型デザインは日常の美容管理をシームレスに統合するのに適している。



図5. カバン型のイメージイラスト

## 5. 今後の展開

次の段階では、選択したアイデアを基にプロトタイプ的设计を進行させる予定である。このプロセスには以下の段階が含まれる。

プロトタイプ的设计、化粧品の選定、材料と耐久性の検討、ユーザーテスト、これらの段階を経て、製品の開発を進め、ユーザーにとって魅力的で実用的な化粧直しキットを提供することを目指す。

### 参考文献

- [1]”夜行バス女子260人に調査！「お化粧ってどうしてる？」”。ドットコラム. 2023-09-07.  
<https://s.kosokubus.com/column/?detail00030>,  
 (参照 2023-10-20)
- [2]”メイク直しはどこまでしてる？”。キクラボ. 2023-09-07.  
<https://kikulabo.orbis.co.jp/cenq/result/?id=78&pageno=6> (参照 2023-10-20)